

## ▼ビデュリオン皮下注用 [注] &lt;2023.3 販売中止&gt;

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】エキセナチド exenatide 【分類】抗糖尿病薬 [GLP-1 作動薬]

【単位】▼2mg/キット

【常用量】1回 2mg, 週 1回

【用法】皮下注 [懸濁液後、白色から白濁色になっているのを確認して速やかに投与] [投与時刻や食前・食後を問わない] [SU 剤, BG 剤, チアゾリジンで効果不十分な場合に適用され、単独投与は認められていない] ■注射針は付属のものを用い、皮下 (腹部・大腿部・上腕部) 以外には投与しない

【透析患者への投与方法】 消化器症状に忍容性が認められていないため禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 軽度～中等度腎機能障害患者には慎重投与、重度腎機能障害患者には消化器症状に忍容性が認められていないため禁忌 (1)

【その他の報告】 使用経験がなく、AUC が 62%上昇し、消化器系副作用から Ccr 30mL/min 未満では投与を避ける (17)

CKDG3 での消化器症状発現率 42% (Guja C, et al: Diabetes Ther 2020 PMID: 32306296)

【特徴】 GLP-1 受容体作動薬であるエキセナチドをマクロスフェア内に封入した製剤で週 1 回投与で効果が持続する。

【主な副作用・毒性】 低血糖、腎不全、急性膵炎、アナフィラキシー反応、血管浮腫、イレウス、悪心・嘔吐・下痢・便秘・食欲不振などの消化器症状、めまい、注射部位異常など

【吸収】 注射部位 [腹部、上腕、大腿] による血中濃度の変化はない (1)

【F】 1日 2回製剤に比べて 25% (1)

【tmax】 効果発現に必要な濃度 50pg/mL まで 3～4 週間、血中濃度の定常状態まで 8 週間程度かかる (1)

【代謝】 腎で分解される (1)

【排泄】 腎で糸球体ろ過を受けたあとに分解され尿中に排泄 (1)

【CL/F】 10.1L/hr (1) Ccr 30～50mL/min : 5.19L/hr, 末期腎不全 1.3L/hr とそれぞれ有意に低下 (1)

【t1/2】 血漿中濃度は 10 週間維持され、12 週後にベースラインに戻る (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 19.1L/man (1)

【MW】 4186.57

【透析性】 資料なし (1)

【薬物動態】 有効治療濃度 50～350pg/mL (1) 皮下投与後、マクロスフェアから 3 段階にわたり薬剤が放出され、臨床効果は大部分が第 2, 3 段階の放出による (1)

【備考】 添付注射針は 23G。新規に開始する際には FBS が低下し安定するまでに約 3 週間かかる場合がある (1) キットではメモリが付いていないので 1mg にできない。

【更新日】 20220402

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。